

「公共建築の日」記念講演会

地域の核となる公共建築

—緊急提言「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について」を中心に—

講師 長澤 悟 [東洋大学理工学部建築学科教授]

参加費
無料

2011年11月15日 [火] 14:00~16:00 [13:15受付開始]

静岡県地震防災センター 2階 ないふるホール

東日本大震災では、学校施設にも甚大な被害が発生し、また、学校が地域住民の避難場所として利用されるなかで、学校施設の安全性やその防災機能について様々な課題がみられました。

学校建築計画の第一人者であり、先ごろ緊急提言をまとめた文部科学省の「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備に関する検討会」で座長を務めた長澤悟氏を講師にお招きし、今回の震災を機に改めてその重要性が着目された「学校」という存在と学校建築のあり方、公共建築と地域づくりについて考える講演会です。

長澤 悟 [ながさわ さとる]
Satoru Nagasawa



東洋大学理工学部建築学科教授
工学博士
同大学 木と建築で創造する共生社会研究センター長

1948年 神奈川県横須賀市生まれ
1978年 東京大学大学院博士課程修了／東京大学助手
1987年から日本大学工学部専任講師／助教授を経て教授
1999年から東洋大学工学部教授

主な受賞歴に、日本建築学会賞作品賞、日本建築学会賞業績賞、日本建築学会東北建築賞（3回）、日本教育研究連合会表彰など

専門分野は建築計画（教育施設、地域施設、住宅等）、設計。特に、教育方法の多様化に対応した学校建築計画、地域施設計画、計画・設計プロセス、住宅・地域づくり等に関する研究を進める一方、学校建築等の計画・設計について、教職員・PTA・住民・子どもたちが参加する計画プロセスをとりながら、新しい学校のあり方を提案している。

平成23年7月に緊急提言をまとめた、文部科学省「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備に関する検討会」において座長を務めた。

このたびの震災においては、地震や津波により、学校施設についても多様な被害が発生し、また、学校施設が子供たちや地域住民の避難場所としての役割を果たす中で、発災直後から学校再開までの間に安全確保、緊急避難、避難生活に関して様々な課題が見られました。

本検討会は、こうした震災から得られた教訓を被災地の復旧・復興にしっかりと生かしていくとともに、全国の学校の安全性・防災機能の強化にも役立てていくことができるよう、検討を行ってきました。（略）この提言が、被災地の復旧・復興はもとより、全国の学校施設の安全性・防災機能の強化を進める上での一助となることを念願しています。また、社会教育施設や社会体育施設の安全性・防災機能の強化を図る際の参考ともなれば幸いです。

[「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について」緊急提言より]

- ◎定員 150名 [先着順]
- ◎参加費 無料
- ◎主催 静岡県公共建築推進協議会
(社)日本建築学会東海支部静岡支所
- ◎共催 (社)公共建築協会
- ◎申込方法 講演会名、氏名、勤務先、電話番号を記載し、E-mail又はFAXにてお申込みください。
- ◎申込期限 2011年11月7日 [月]
- ◎申込み・問合せ先
静岡県公共建築推進協議会事務局
[静岡県経営管理部営繕企画課内]
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL 054-221-3374
FAX 054-221-2386
E-mail eizenkikaku@pref.shizuoka.lg.jp

◎会場アクセス（JR静岡駅から）

- (1) JR静岡駅北口、11番のりばから「西部循環線（駒形まわり）」に乗りし、「駒形五丁目」にて下車（所要時間約12分）。進行方向へ交差点右折徒歩2分。
- (2) JR静岡駅北口、7番のりばから「中部国道線」「丸子線」「東新田下川原線」「牧ヶ谷線」「用宗線」のいずれかに乗りし、「本通十丁目」にて下車（所要時間約9分）。進行方向へ交差点左折徒歩5分。

※会場には駐車場がないため、御来場にあたっては公共交通機関を御利用ください。

